

「生活意識に関するアンケート調査」(第41回)の結果 —— 平成22年3月調査 ——

<はじめに>

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本支店や事務所を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めており、その一環として、平成5年以降、全国の満20歳以上の個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が別途行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査とは異なり、生活者の意識や行動を大まかに聴取する一種の世論調査です。

<目 次>

1. 要 旨	
1-1. 景況感等	2 頁
1-2. 暮らし向き、消費意識	4 〃
1-3. 物価に対する実感	6 〃
1-4. 先行きの地価動向	10 〃
1-5. 日本経済の成長力	10 〃
1-6. 電子マネーに関する利用状況等	11 〃
2. 集計対象標本の属性分布	16 〃
3. アンケート調査結果の詳細	17 〃

【調査概要】

- ・ 調査実施期間 : 平成22年2月11日(木)～3月9日(火)
- ・ 調 査 対 象 : 全国の満20歳以上の個人
- ・ 標 本 数 : 4,000人(有効回答者数 2,284人<有効回答率 57.1%>)
- ・ 抽 出 方 法 : 層化二段無作為抽出法
- ・ 調 査 方 法 : 質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

<本件に関する照会先>
情報サービス局総務企画担当
蔵本、安藤(直通:03-3277-2578)

1. 要 旨

1-1. 景況感等

1-1-1. 景況感

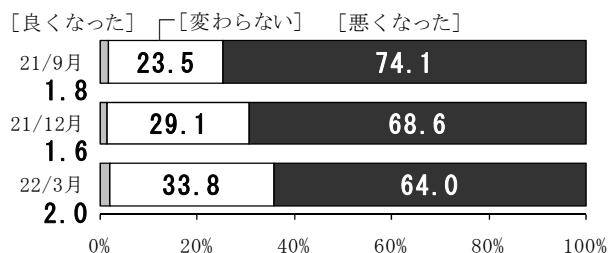
景況感については、現在（1年前対比）は、「悪くなった」との回答が減少し、「良くなった」との回答が増加したことから、景況感D. I. は改善した。先行き（1年後）は、「悪くなる」との回答が減少し、「良くなる」との回答が増加したことから、景況感D. I. は改善した。

なお、現在の景気水準については、「どちらかと言えば、悪い」との回答が増加し、『悪い』^(注)との回答割合は引続き8割台後半となった。

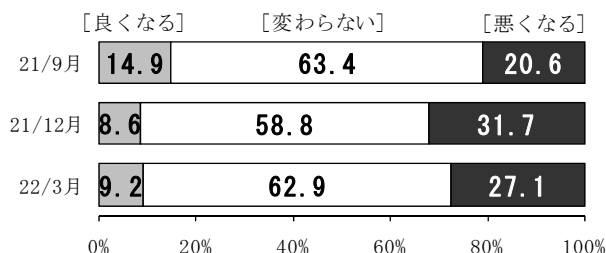
(注)『悪い』は「悪い」と「どちらかと言えば、悪い」の合計。

(図表1) 景況感 [Q1、3、4]

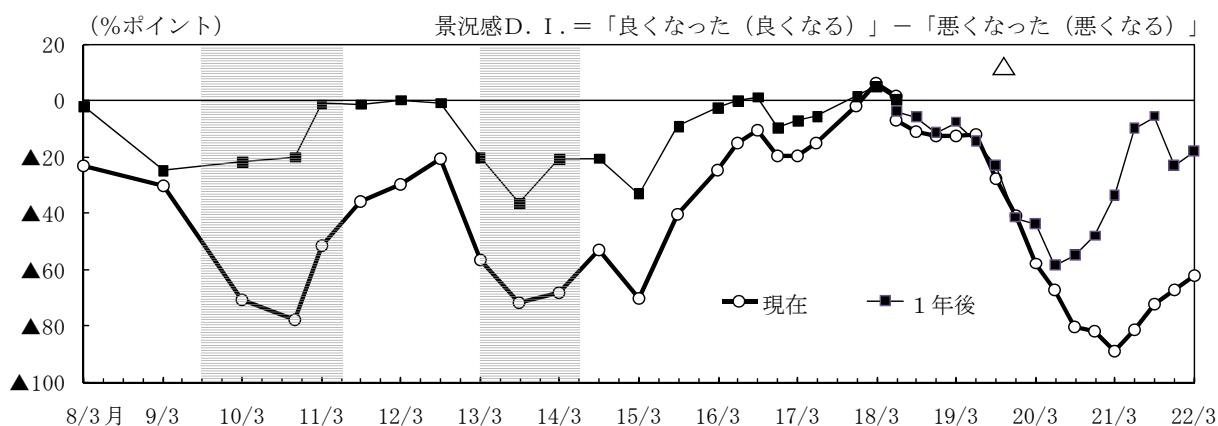
<現在を1年前と比べると>



<1年後を現在と比べると>



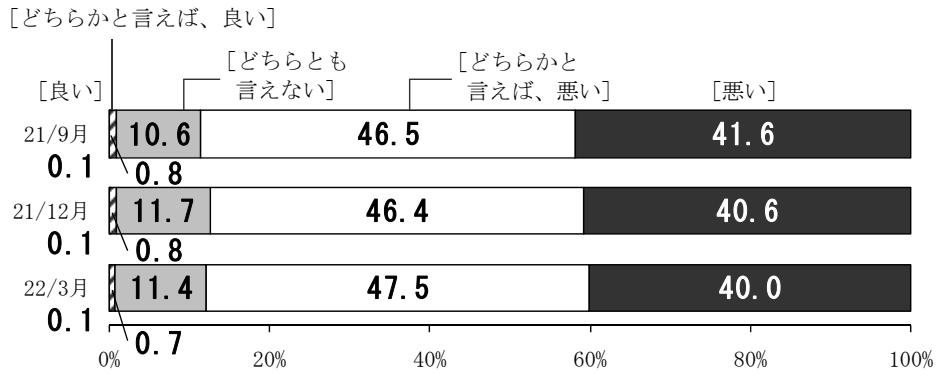
<景況感D. I. の推移>



	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3
現在の景況感 D. I. (前回比)	▲12.0 (+0.1)	▲27.4 (▲15.4)	▲40.7 (▲13.3)	▲57.7 (▲17.0)	▲67.3 (▲9.6)	▲80.4 (▲13.1)	▲81.9 (▲1.5)	▲88.9 (▲7.0)	▲81.4 (+7.5)	▲72.3 (+9.1)	▲67.0 (+5.3)	▲62.0 (+5.0)
1年後の景況感 D. I. (前回比)	▲14.5 (▲6.8)	▲22.9 (▲8.4)	▲41.4 (▲18.5)	▲43.7 (▲2.3)	▲58.3 (▲14.6)	▲54.7 (+3.6)	▲47.9 (+6.8)	▲33.5 (+14.4)	▲9.9 (+23.6)	▲5.7 (+4.2)	▲23.1 (▲17.4)	▲17.9 (+5.2)

- (注) 1. 18/6月調査までは訪問留置法、18/9月調査からは郵送調査法（18/6月の予備調査を含む）。
 2. 18/6月調査までのD. I. は「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」。
 3. 本調査は10/3月まで年1回、10/11月から16/3月までは年2回、16/6月からは年4回実施。17/9月は実施せず。
 4. シェード一部分は、景気後退期。△は直近（19/10月）の景気の山。

<現在の水準>

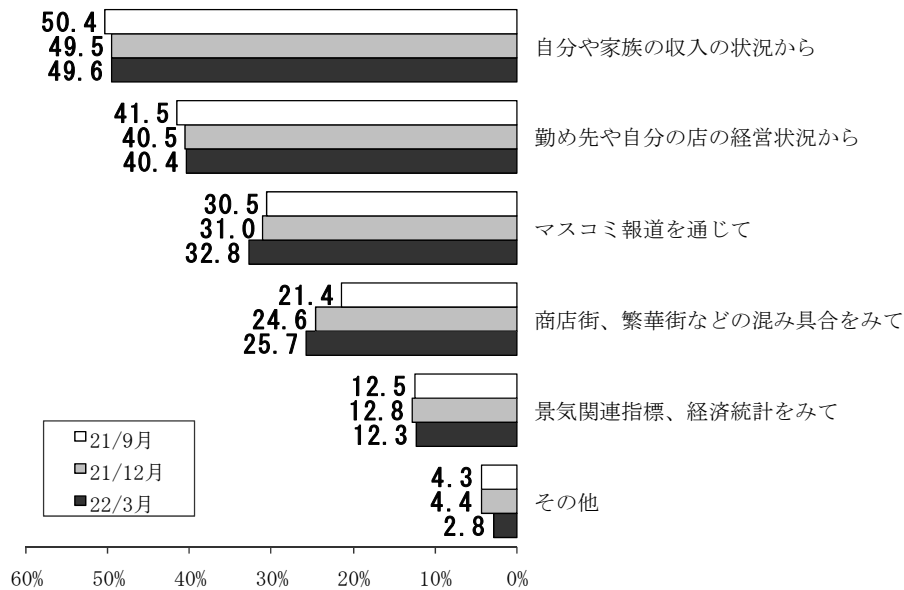


1-1-2. 景気判断の根拠等

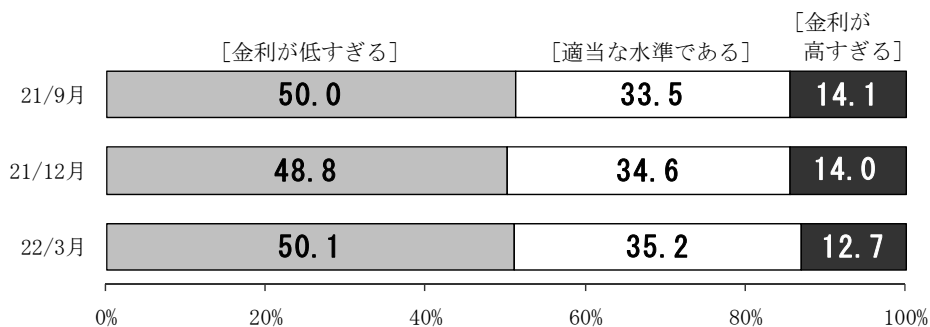
景気判断の根拠については、「自分や家族の収入の状況から」との回答が最も多く、次いで「勤め先や自分の店の経営状況から」、「マスコミ報道を通じて」といった回答が多かった。

金利水準についての見方は、「金利が低すぎる」との回答が増加し、「金利が高すぎる」との回答が減少した。

(図表2) 景気判断の根拠 (2つまでの複数回答) [Q2]



(図表3) 金利水準についての見方 [Q5]

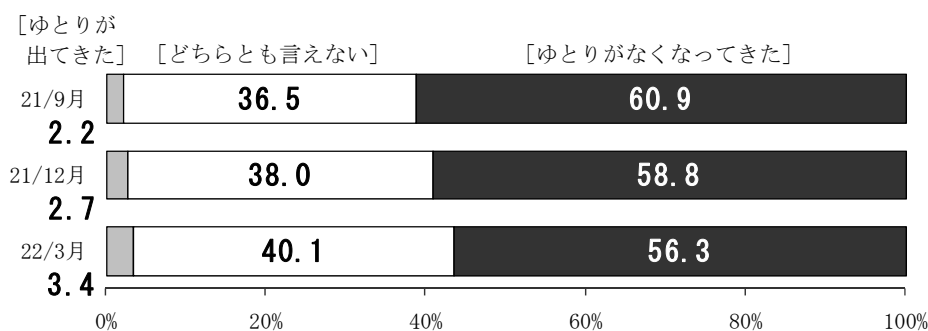


1-2. 暮らし向き、消費意識

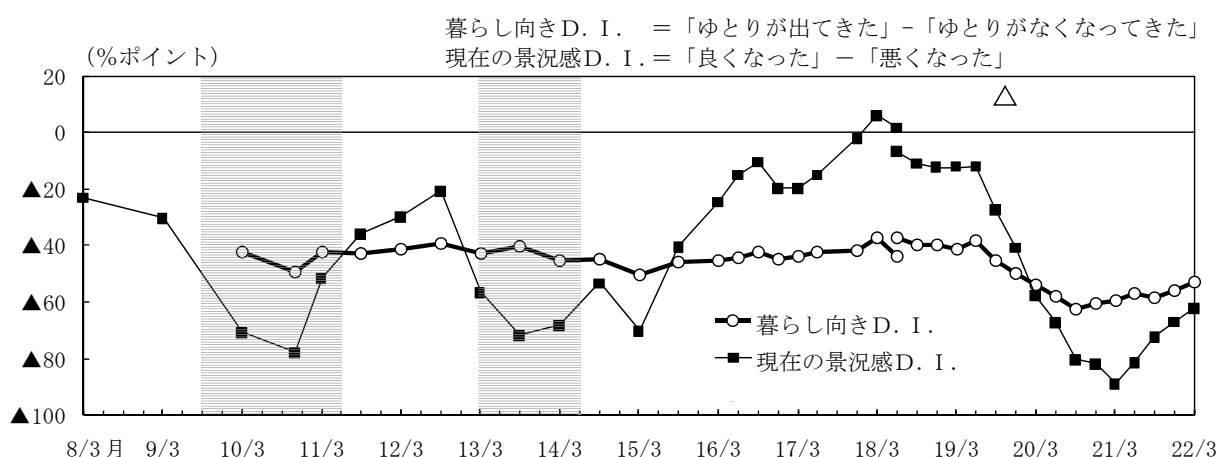
1-2-1. 現在の暮らし向き

現在の暮らし向き（1年前対比）については、「ゆとりがなくなってきた」との回答が減少し、「ゆとりが出てきた」との回答が増加したことから、暮らし向きD. I.は改善した。

（図表4）現在の暮らし向き〔Q6〕



<暮らし向きD. I.の推移>



	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3
暮らし向きD. I. (前回比)	▲38.0 (+3.2)	▲45.1 (▲7.1)	▲50.0 (▲4.9)	▲54.1 (▲4.1)	▲58.2 (▲4.1)	▲62.6 (▲4.4)	▲60.4 (+2.2)	▲59.4 (+1.0)	▲57.0 (+2.4)	▲58.7 (▲1.7)	▲56.1 (+2.6)	▲52.9 (+3.2)
現在の景況感D. I. (前回比)	▲12.0 (+0.1)	▲27.4 (▲15.4)	▲40.7 (▲13.3)	▲57.7 (▲17.0)	▲67.3 (▲9.6)	▲80.4 (▲13.1)	▲81.9 (▲1.5)	▲88.9 (▲7.0)	▲81.4 (+7.5)	▲72.3 (+9.1)	▲67.0 (+5.3)	▲62.0 (+5.0)

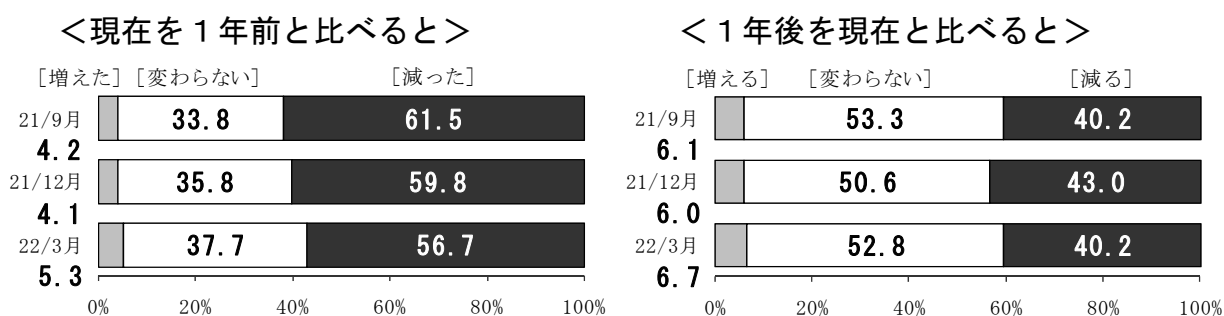
- (注) 1. 18/6月調査までは訪問留置法、18/9月調査からは郵送調査法（18/6月の予備調査を含む）。
 2. 18/6月調査までの景況感D. I.は「良くなっていると思う」-「悪くなっていると思う」、暮らし向きD. I.は「どちらかと言えば、ゆとりが出てきたと思う」-「どちらかと言えば、苦しくなってきたと思う」。
 3. 本調査は10/3月まで年1回、10/11月から16/3月までは年2回、16/6月からは年4回実施。17/9月は実施せず。
 4. シャドウ部分は、景気後退期。△は直近（19/10月）の景気の山。

1-2-2. 収入・支出

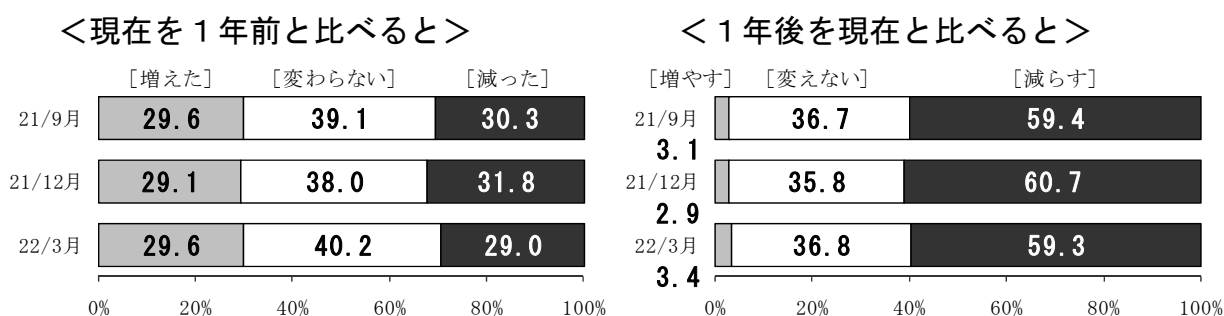
収入の増減については、実績（1年前対比）、先行き（1年後）とも、「増えた（増える）」、「変わらない」との回答が増加し、「減った（減る）」との回答が減少した。

一方、支出の増減については、実績（1年前対比）、先行き（1年後）とも、「増えた（増やす）」、「変わらない（変えない）」との回答が増加し、「減った（減らす）」との回答が減少した。

（図表5）収入〔Q7、8〕



（図表6）支出〔Q9、11〕

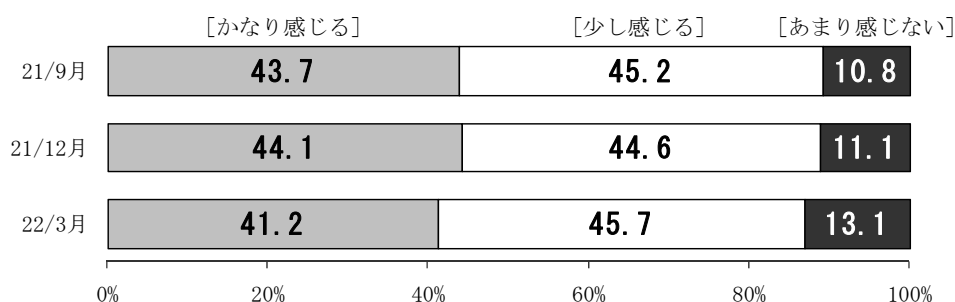


1-2-3. 雇用環境

1年後を見た勤労者^(注)の勤め先での雇用・処遇の不安については、「かなり感じる」との回答が減少した一方、「あまり感じない」、「少し感じる」との回答が増加した。

（注）勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）、およびパート・アルバイトなど。

（図表7）1年後を見た勤め先での雇用・処遇についての不安（勤労者）
〔Q20<うち勤労者>〕



1-3. 物価に対する実感

1-3-1. 現在の物価

現在の物価^(注1)に対する実感(1年前対比)は、『上がった』^(注2)との回答が減少し2割台前半となった一方、『下がった』^(注3)との回答が増加し約4割となった。

また、1年前に比べ、物価は何%程度変化したかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(▲0.6%<前回: +0.2%>)は低下した一方、中央値(0.0%<前回: 0.0%>)は横ばいとなった。

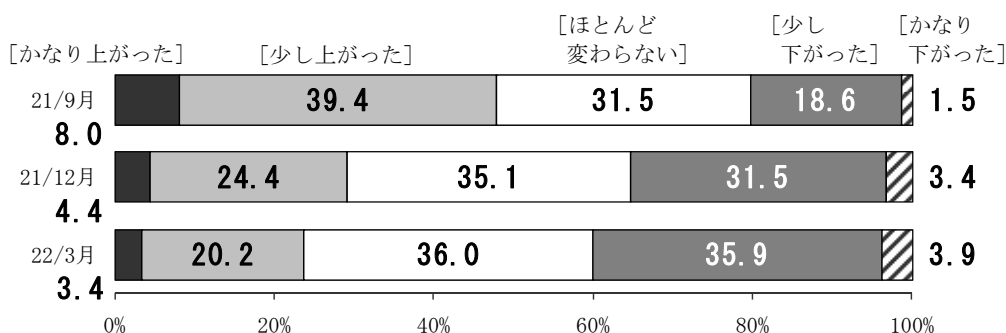
(注1) 「あなたが購入する物やサービスの価格全体」と定義。

(注2) 『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(注3) 『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

(図表8) 現在の物価に対する実感 [Q 12、13]

<現在を1年前と比べると>



<1年前に比べ現在の物価は何%程度変化したと思うか>

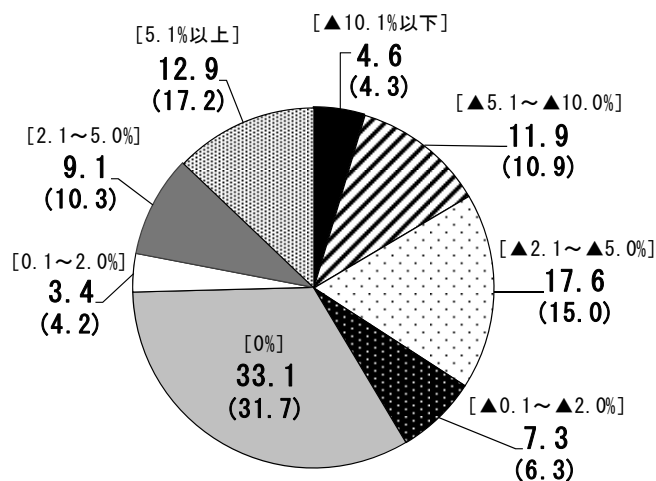
	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
21/9月	+3.6%	+0.1%
21/12月	+0.2%	0.0%
22/3月	▲0.6%	0.0%

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、▲0.5%
 (前回調査<21/12月実施>: +0.3%)。

(注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布>

()内は前回調査(21/12月実施)の結果



1-3-2. 1年後の物価

1年後の物価については、『上がる』^(注1)、『下がる』^(注2)との回答が減少した一方、「ほとんど変わらない」との回答が増加した。

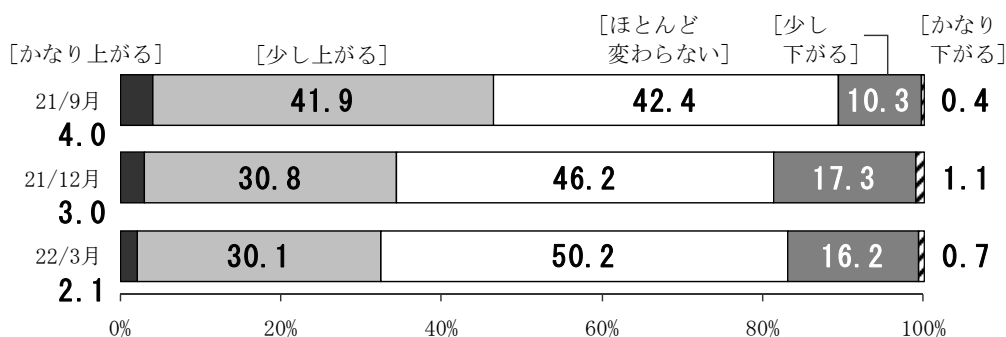
また、1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値（+1.7%＜前回：+1.7%＞）、中央値（0.0%＜前回：0.0%＞）とも横ばいとなった。

(注1)『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(注2)『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

(図表9) 1年後の物価に対する見方〔Q14、15〕

＜1年後を現在と比べると＞



＜1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うか＞

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
21/9月	+3.1%	+0.1%
21/12月	+1.7%	0.0%
22/3月	+1.7%	0.0%

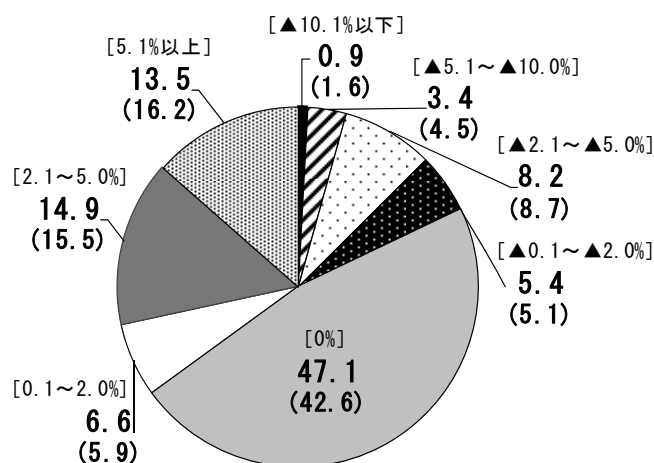
(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

なお、全サンプルの単純平均値は、+1.8%
(前回調査<21/12月実施>：+1.7%)。

(注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

＜今回調査の回答の分布＞

()内は前回調査(21/12月実施)の結果



1-3-3. 5年後の物価

5年後の物価については、『下がる』^(注1)との回答が減少した一方、『上がる』^(注2)、「ほとんど変わらない」との回答は増加した。

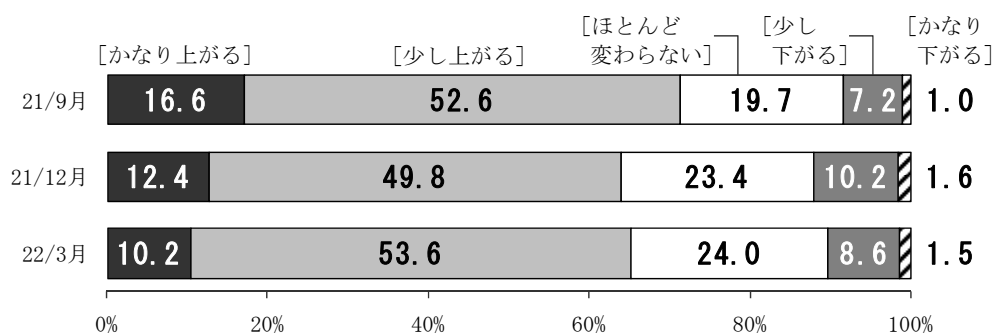
また、これから5年間で物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+3.0%<前回:+3.5%>)は低下した一方、中央値(+2.0%<前回:+2.0%>)は横這いとなった。

(注1)『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

(注2)『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(図表10) 5年後の物価に対する見方 [Q16、17]

<5年後の見通し>



<5年後の物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うか>

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
21/9月	+3.9%	+2.0%
21/12月	+3.5%	+2.0%
22/3月	+3.0%	+2.0%

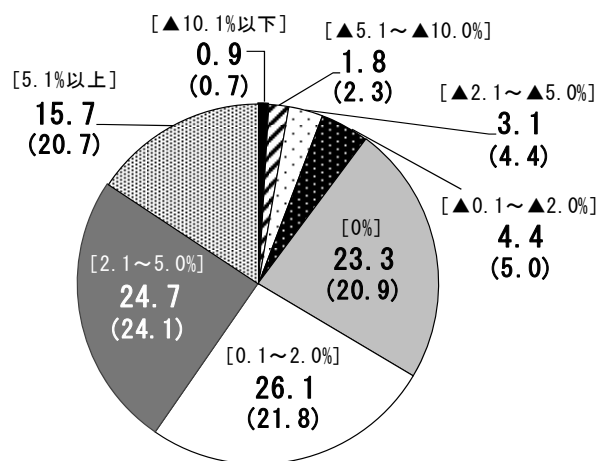
(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

なお、全サンプルの単純平均値は、+3.2% (前回調査<21/12月実施>:+3.6%)。

(注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布>

()内は前回調査(21/12月実施)の結果



1-3-4. 物価上昇・下落についての感想

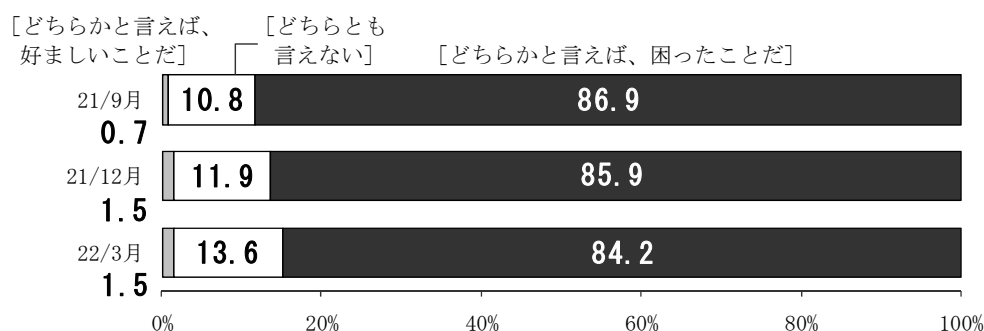
1年前と比べて物価が『上がった』^(注1)と答えた人(2割台前半)に、その感想を聞くと、8割台半ばの人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

一方、1年前に比べて物価が『下がった』^(注2)と答えた人(約4割)に、その感想を聞くと、2割台前半の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答し、3割台前半の人が「どちらかと言えば、好ましいことだ」と回答した。

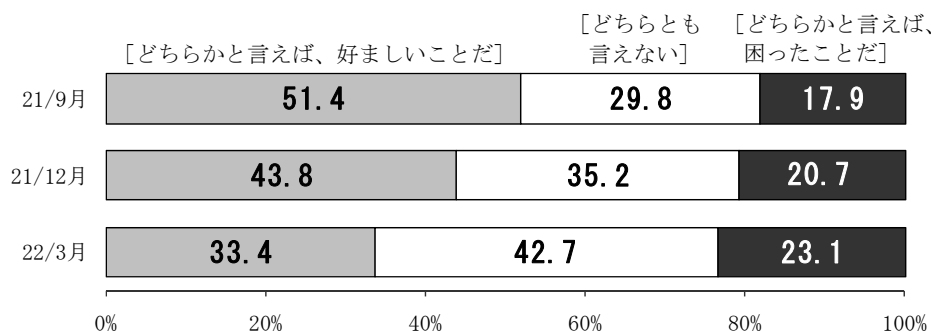
(注1)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(注2)『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

(図表11) 物価上昇についての感想 [Q12-a]



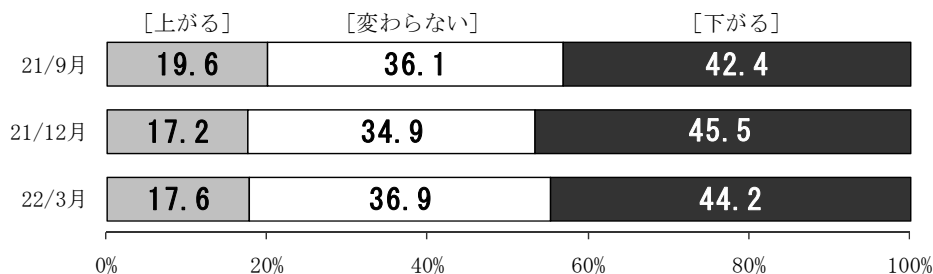
(図表12) 物価下落についての感想 [Q12-b]



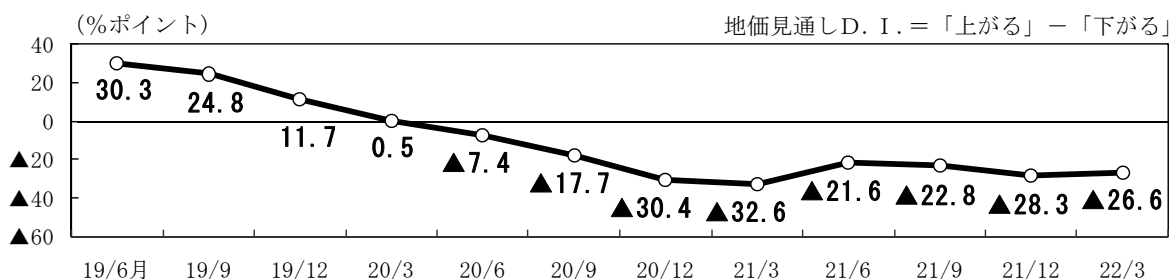
1-4. 先行きの地価動向

先行きの地価については、「下がる」との回答が減少し、「上がる」との回答が増加したことから、地価見通しD. I. はマイナス幅を縮小した。

(図表 1 3) 先行きの地価動向に対する見方〔Q 18〕



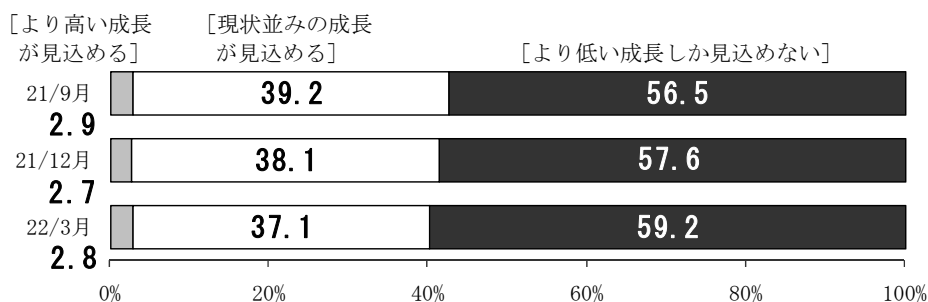
<地価見通しD. I. の推移>



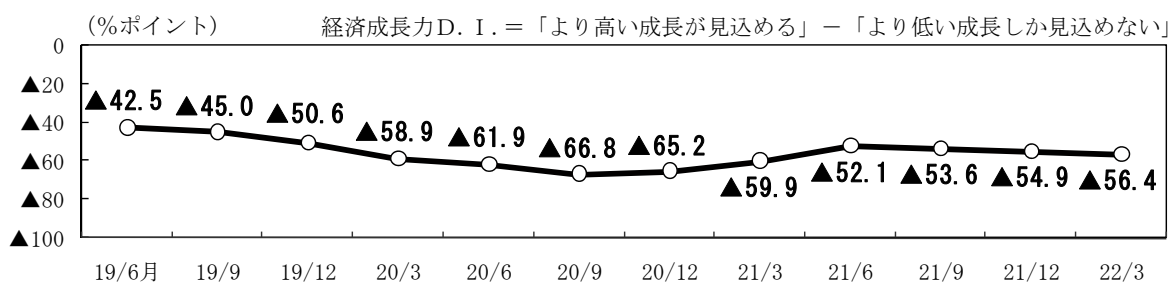
1-5. 日本経済の成長力

日本経済の成長力については、「現状並みの成長が見込める」との回答が減少した一方、「より低い成長しか見込めない」との回答は増加した。

(図表 1 4) 日本経済の成長力に対する見方〔Q 19〕



<経済成長力D. I. の推移>

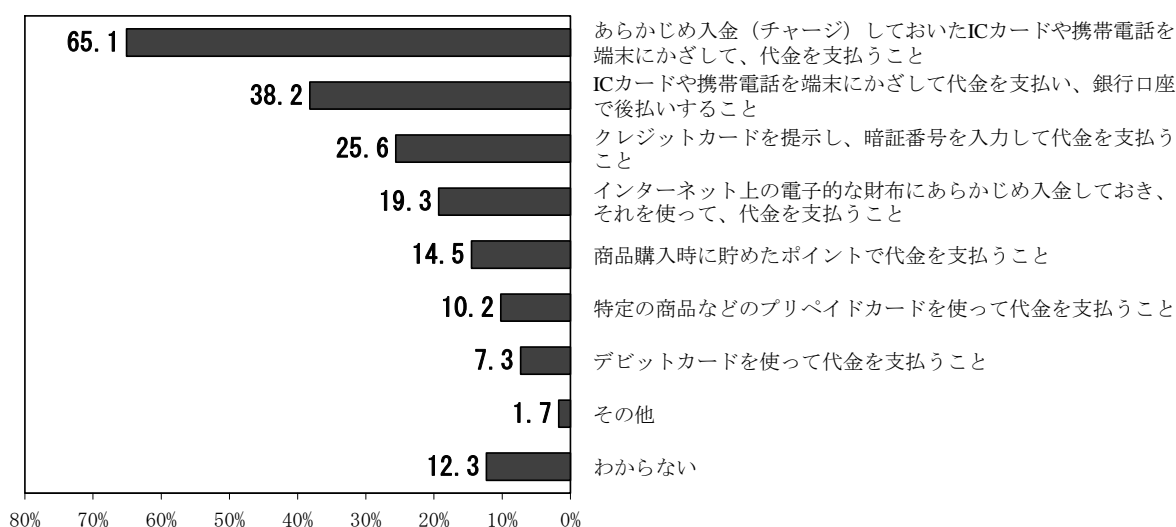


1-6. 電子マネーに関する利用状況等 ※ 今回新設

1-6-1. 電子マネーに関する認識

「電子マネー」と聞いて何を思い浮かべるかと尋ねたところ、「あらかじめ入金（チャージ）しておいたICカードや携帯電話を端末にかざして、代金を支払うこと」との回答割合が最も高かった。次いで「ICカードや携帯電話を端末にかざして代金を支払い、銀行口座で後払いすること」、「クレジットカードを提示し、暗証番号を入力して代金を払うこと」、「インターネット上の電子的な財布にあらかじめ入金しておき、それを使って、代金を支払うこと」との回答割合が高かった。

（図表15）電子マネーに関する認識（複数回答）〔Q21〕

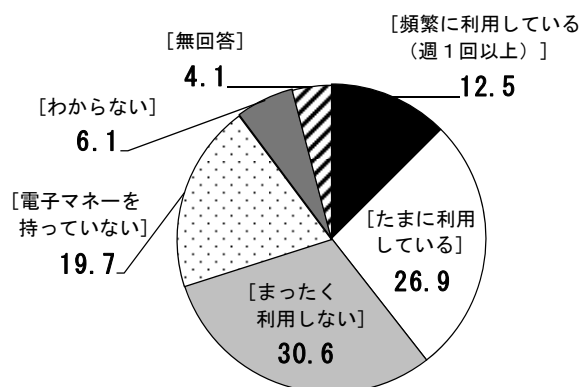


1-6-2. 電子マネーの利用頻度

電子マネーの利用頻度について尋ねたところ、『利用している』^(注)との回答は約4割となった一方、「まったく利用しない」または「電子マネーを持っていない」との回答は合計で約5割となった。

（注）『利用している』は「頻繁に利用している（週1回以上）」と「たまに利用している」の合計（以下同じ）。

（図表16）電子マネーの利用頻度〔Q22〕



1-6-3. 電子マネーの利用状況

電子マネーを『利用している』と回答した人（約4割）に実際に利用している電子マネーについて尋ねたところ、「Suica」、「PASMO」、「WAON」、「Edy」、「Nanaco」といった回答が多かった。

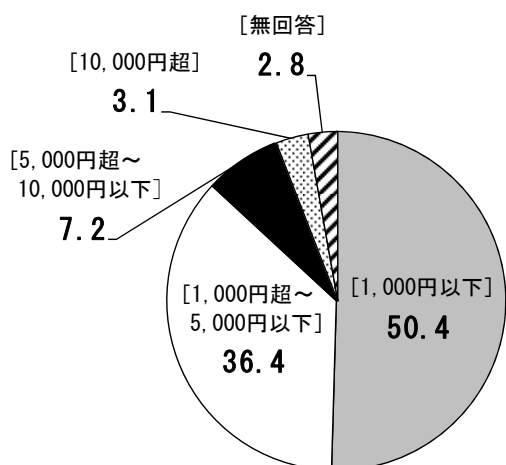
また、利用する際の1回当たりの利用額については、「1,000円以下」との回答割合が約5割、「1,000円超～5,000円以下」が3割台後半、5,000円超とする回答割合も約1割となった。一方、利用のために一度に入金する金額については、「1,000円超～5,000円以下」の回答割合が5割台後半と最も多く、次いで「5,000円超～10,000円以下」が2割台前半となった。

(図表17) 実際に利用している電子マネー（複数回答）〔Q23-a〕

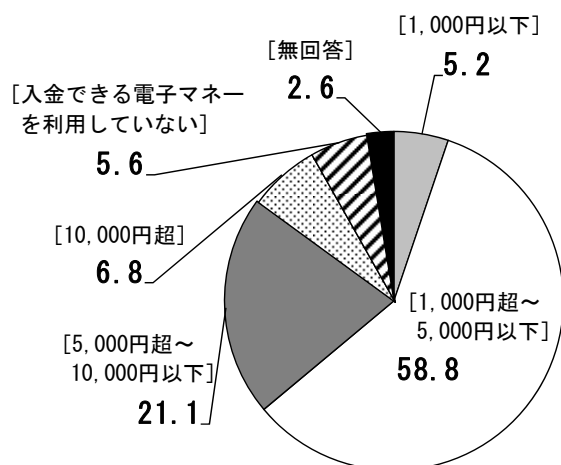
	利用率		利用率
Suica	37.0	ICOCA	8.1
PASMO	24.3	iD/DCMX	5.3
WAON	17.4	PiTaPa	4.8
Edy	17.0	WebMoney	3.2
Nanaco	13.9	Visa-Debit	2.9

(図表18) 電子マネーの利用額と入金額〔Q23-b、c〕

<電子マネーの利用額（1回当たり）>



<電子マネーの入金額（1回当たり）>

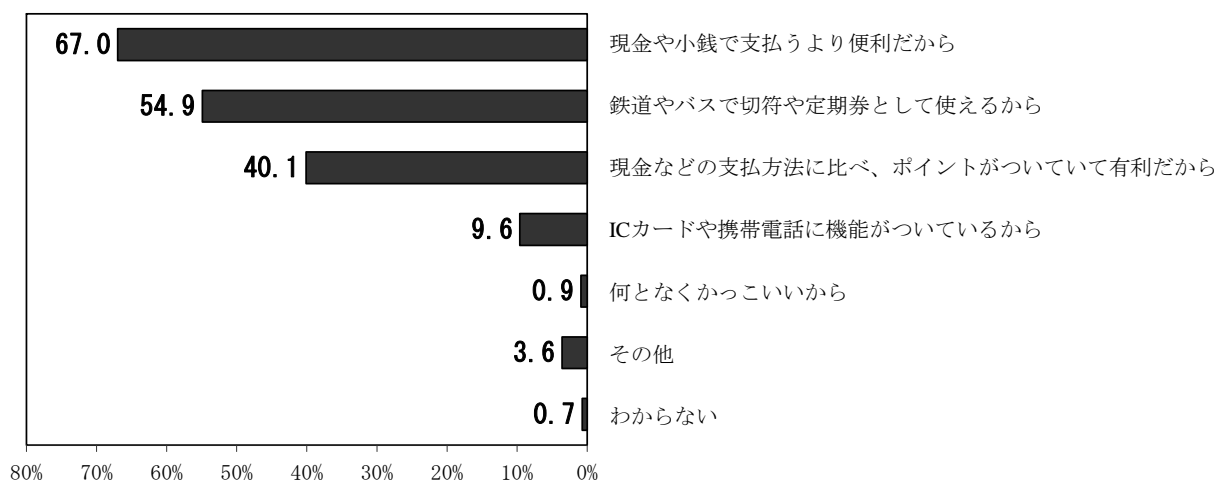


1-6-4. 電子マネーを利用している理由等

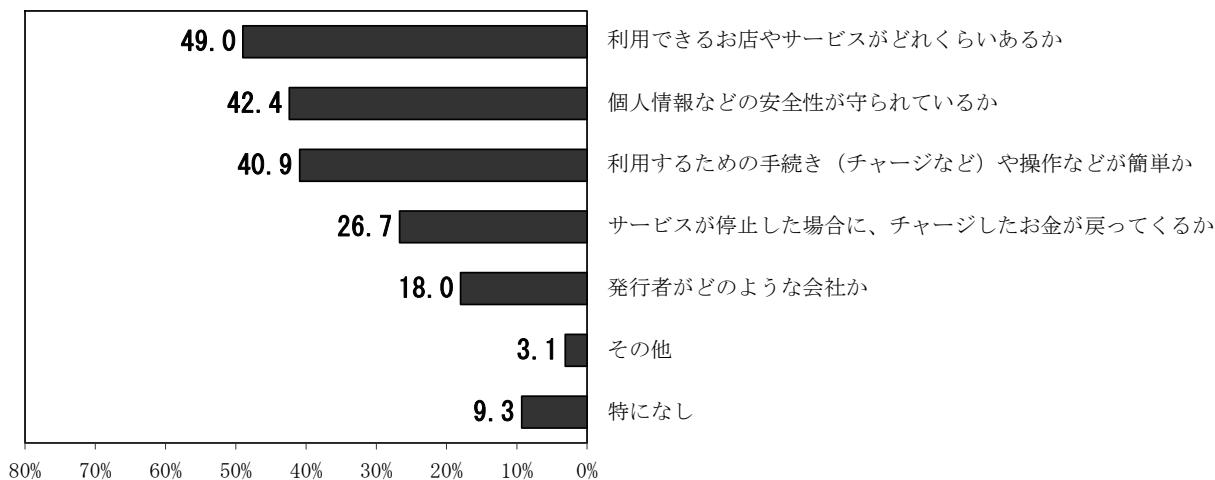
電子マネーを『利用している』と回答した人（約4割）にその理由を尋ねたところ、「現金や小銭で支払うより便利だから」との回答が最も多く、次いで「鉄道やバスで切符や定期券として使えるから」、「現金などの支払方法に比べ、ポイントがついていて有利だから」との回答が多かった。

また、電子マネーを利用する際に気になる点としては、「利用できるお店やサービスがどれくらいあるか」との回答が最も多く、次いで「個人情報などの安全性が守られているか」、「利用するための手続き（チャージなど）や操作などが簡単か」との回答が多かった。

（図表19）電子マネーを利用している理由（複数回答）〔Q23-d〕



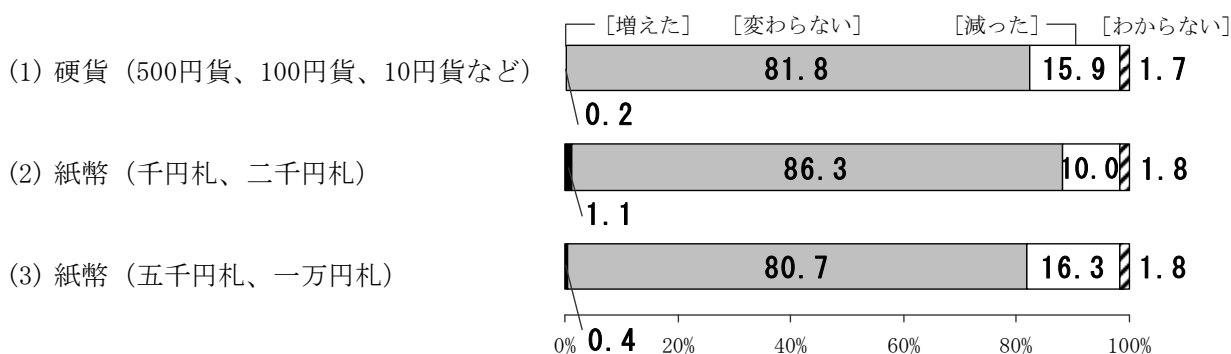
（図表20）電子マネーを利用する際に気になる点（複数回答）〔Q23-e〕



1-6-5. 電子マネー利用後の現金保有状況

電子マネーを『利用している』と回答した人（約4割）に、利用後に日常持ち歩く現金の額に変化があったかどうかを尋ねたところ、硬貨、千円札・二千円札、五千円札・一万円札とも、「減った」との回答割合は1割台、「変わらない」との回答割合は8割台となった。

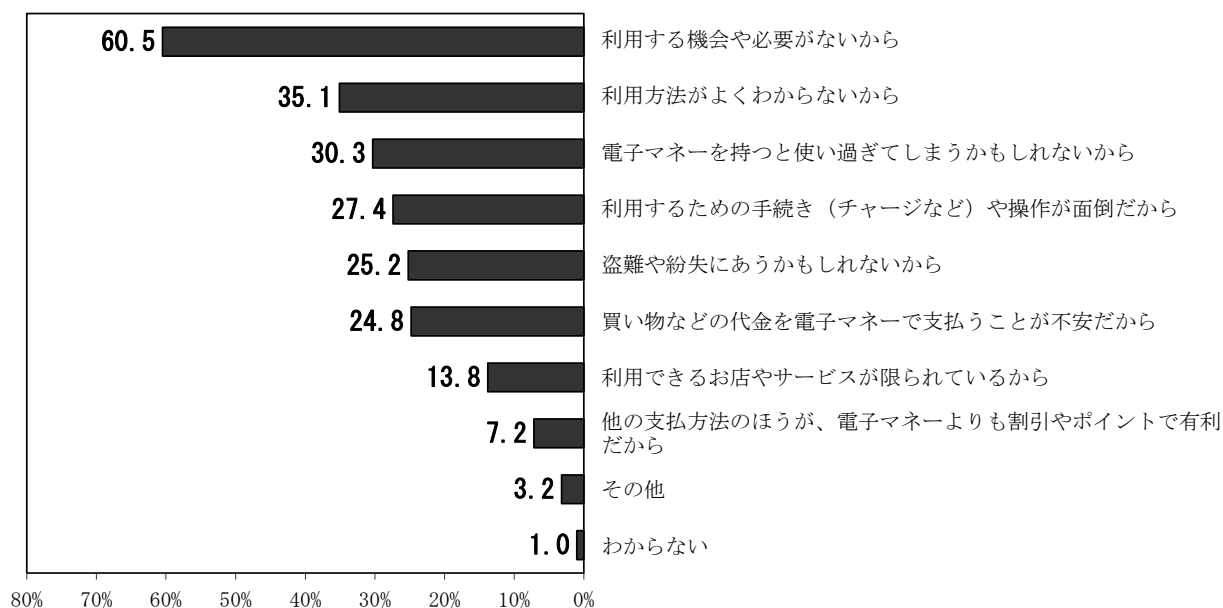
（図表2-1）電子マネー利用後の現金保有状況〔Q 23-f〕



1-6-6. 電子マネーを利用しない理由

電子マネーを「まったく利用しない」および「電子マネーを持っていない」と回答した人（約5割）にその理由を尋ねたところ、「利用する機会や必要がないから」との回答が最も多く、次いで「利用方法がよくわからないから」、「電子マネーを持つと使い過ぎてしまうかもしれないから」との回答が多かった。

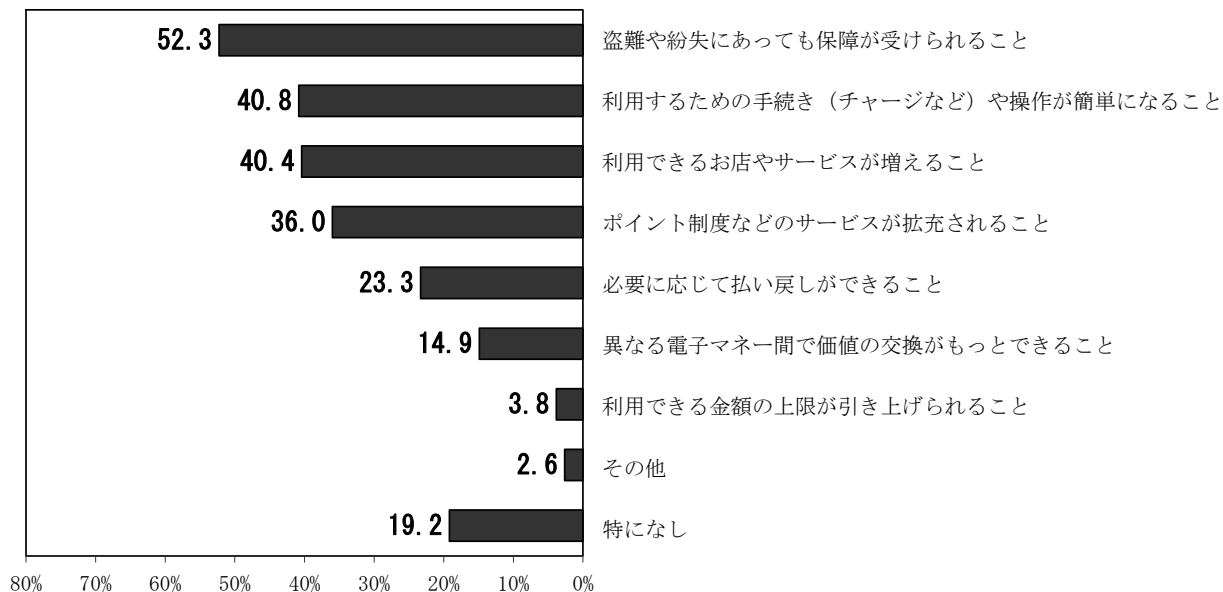
（図表2-2）電子マネーを利用しない理由（複数回答）〔Q 24〕



1-6-7. 電子マネーの利用に関する要望事項

電子マネーの利用に関する要望事項について尋ねたところ、「盗難や紛失にあっても保障が受けられること」との回答が最も多く、次いで「利用するための手続き（チャージなど）や操作が簡単になること」、「利用できるお店やサービスが増えること」との回答が多かった。

(図表 2 3) 電子マネーの利用に関する要望事項（複数回答）〔Q 25〕



2. 集計対象標本の属性分布

(構成比：%、母集団対比：%ポイント)

	22/3月調査 (A)	母集団 ^(注) (B)	母集団対比 (A) - (B)	抽出標本 (参考値)
--	----------------	---------------------------	--------------------	---------------

(性別構成)

男性	49.0	48.3	0.7	49.9
女性	51.0	51.7	▲ 0.7	50.2

(年齢別構成)

20～29歳	11.9	13.9	▲ 2.0	13.4
30～39歳	17.2	17.9	▲ 0.7	18.0
40～49歳	18.1	15.6	2.5	17.0
50～59歳	18.1	16.6	1.5	15.9
60～69歳	18.7	16.7	2.0	16.8
70歳以上	16.0	19.3	▲ 3.3	19.0

(地域別構成)

北海道	4.2	4.4	▲ 0.2	4.1
東北	7.9	7.5	0.4	7.5
関東	34.5	33.0	1.5	33.3
北陸	4.3	4.3	0.0	4.1
中部	14.9	14.0	0.9	14.3
近畿	15.7	16.2	▲ 0.5	16.1
中国	6.1	6.0	0.1	5.6
四国	3.1	3.2	▲ 0.1	3.0
九州	9.3	11.4	▲ 2.1	12.0

(注) 住民基本台帳に記録された平成21年3月31日現在の市区町村別人口による。

3. アンケート調査結果の詳細

「生活意識に関するアンケート調査」(第41回) —— 平成22年3月調査 ——

- ・選択肢ごとに付記した数値は、回答対象者数を100とした時の各選択肢の回答比率(単位%、小数第2位以下四捨五入)。
- ・回答は、特に断りのない限り、択一。
- ・四捨五入等の関係から、択一回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100とはならない。
- ・()内の数値は、前回調査結果(第40回、平成21年12月実施)。

- Q1. 1年前と比べて、今の景気はどう変わりましたか。**
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなった | 2.0 (1.6) |
| 2 変わらない | 33.8 (29.1) |
| 3 悪くなった | 64.0 (68.6) |
- Q2. Q1のご回答について、そのようにお考えになるのは、主にどのようなことからですか。【2つまでの複数回答】**
- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 マスコミ報道を通じて | 32.8 (31.0) |
| 2 景気関連指標、経済統計をみて | 12.3 (12.8) |
| 3 勤め先や自分の店の経営状況から | 40.4 (40.5) |
| 4 自分や家族の収入の状況から | 49.6 (49.5) |
| 5 商店街、繁華街などの混み具合をみて | 25.7 (24.6) |
| 6 その他 | 2.8 (4.4) |
- Q3. 現在の景気をどう感じますか。**
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 良い | 0.1 (0.1) |
| 2 どちらかと言えば、良い | 0.7 (0.8) |
| 3 どちらとも言えない | 11.4 (11.7) |
| 4 どちらかと言えば、悪い | 47.5 (46.4) |
| 5 悪い | 40.0 (40.6) |
- Q4. 1年後の景気は、今と比べてどうなると思いますか。**
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなる | 9.2 (8.6) |
| 2 変わらない | 62.9 (58.8) |
| 3 悪くなる | 27.1 (31.7) |
- Q5. 景気の状態を考えたとき、現在の金利水準をどのようにお考えになりますか。**
- | | |
|------------|---------------|
| 1 金利が低すぎる | 50.1 (48.8) |
| 2 適当な水準である | 35.2 (34.6) |
| 3 金利が高すぎる | 12.7 (14.0) |
- Q6. 1年前と比べて、あなたの暮らし向きがどう変わったと感じますか。**
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 ゆとりが出てきた | 3.4 (2.7) |
| 2 どちらとも言えない | 40.1 (38.0) |
| 3 ゆとりがなくなってきた | 56.3 (58.8) |

Q6-a.	(Q6で1「ゆとりが出てきた」と答えた方への質問)		
	その理由は次のうちどれですか。【複数回答】		
	1 給与や事業などの収入が増えたから	53.2	(46.9)
	2 利子や配当などの収入が増えたから	1.3	(1.6)
	3 不動産の売却などの収入があったから	0.0	(0.0)
	4 物価が下がったから	23.4	(15.6)
	5 不動産・株式などの資産の価格が上がったから	2.6	(3.1)
	6 扶養家族が減ったから	22.1	(17.2)
	7 その他	16.9	(32.8)
Q6-b.	(Q6で3「ゆとりがなくなってきた」と答えた方への質問)		
	その理由は次のうちどれですか。【複数回答】		
	1 給与や事業などの収入が減ったから	75.3	(74.9)
	2 利子や配当などの収入が減ったから	16.9	(15.4)
	3 不動産の購入などの支出があったから	3.3	(2.7)
	4 物価が上がったから	15.4	(19.0)
	5 不動産・株式などの資産の価格が下がったから	11.7	(11.8)
	6 扶養家族が増えたから	7.1	(8.0)
	7 その他	19.4	(15.9)
Q7.	1年前と比べて、あなたの世帯の収入はどう変わりましたか。		
	1 増えた	5.3	(4.1)
	2 変わらない	37.7	(35.8)
	3 減った	56.7	(59.8)
Q8.	1年後のあなたの世帯の収入は、現在と比べてどうなるとお考えですか。		
	1 増える	6.7	(6.0)
	2 変わらない	52.8	(50.6)
	3 減る	40.2	(43.0)
Q9.	1年前と比べて、あなたの世帯の支出はどう変わりましたか。		
	1 増えた	29.6	(29.1)
	2 変わらない	40.2	(38.0)
	3 減った	29.0	(31.8)
Q9-a.	(Q9で1「増えた」と答えた方への質問)		
	支出が増えたのはなぜですか。【複数回答】		
	1 収入が増えたから	4.4	(5.1)
	2 将来の収入増が見込まれるから	3.1	(1.3)
	3 不動産など実物資産が値上がりしたから	0.3	(0.9)
	4 株式や債券などの金融資産が値上がりしたから	0.4	(0.0)
	5 住宅など不動産を購入したから	5.8	(6.0)
	6 車など耐久消費財を購入したから	25.6	(21.8)
	7 扶養家族の増加などに伴う支出があったから	30.2	(29.5)
	8 生活関連の物やサービスの値段が上がったから	33.6	(37.3)
	9 その他	31.7	(31.3)

- Q9-b. (Q9で3「減った」と答えた方への質問)
支出が減ったのはなぜですか。【複数回答】**
- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 収入が減ったから | 78.1 (74.9) |
| 2 将来の収入増が見込まれないから | 46.3 (46.9) |
| 3 不動産など実物資産が値下がりしたから | 3.6 (5.4) |
| 4 株式や債券などの金融資産が値下がりしたから | 10.4 (12.2) |
| 5 扶養家族の減少などに伴い支出が減ったから | 5.9 (7.0) |
| 6 その他 | 6.5 (6.8) |
- Q10-1. Q9の支出のうち、あなたの世帯では、生活費や教育費などの日常的な支出をどうしていますか。**
- | | |
|----------|---------------|
| 1 増やしている | 7.4 (7.0) |
| 2 変えていない | 48.2 (46.8) |
| 3 減らしている | 42.9 (44.7) |
- Q10-2. それでは、趣味やレジャーなど選択的な支出をどうしていますか。**
- | | |
|----------|---------------|
| 1 増やしている | 2.9 (3.0) |
| 2 変えていない | 31.4 (29.1) |
| 3 減らしている | 64.9 (67.1) |
- Q11. 今後1年間、あなたの世帯では支出をどうされますか。**
- | | |
|--------|---------------|
| 1 増やす | 3.4 (2.9) |
| 2 変えない | 36.8 (35.8) |
| 3 減らす | 59.3 (60.7) |
- Q12. 次に「物価」についておうかがいします。
あなたご自身の感じでは、「物価」は1年前と比べてどう変わりましたか
(「物価」とは、あなたが購入される物やサービスの価格全体のことです)。**
- | | |
|-------------|---------------|
| 1 かなり上がった | 3.4 (4.4) |
| 2 少し上がった | 20.2 (24.4) |
| 3 ほとんど変わらない | 36.0 (35.1) |
| 4 少し下がった | 35.9 (31.5) |
| 5 かなり下がった | 3.9 (3.4) |
- Q12-a. (Q12で1または2「上がった」と答えた方への質問)
「物価」が上がったことをどのように思いますか。**
- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 どちらかと言えば、好ましいことだ | 1.5 (1.5) |
| 2 どちらかと言えば、困ったことだ | 84.2 (85.9) |
| 3 どちらとも言えない | 13.6 (11.9) |
- Q12-b. (Q12で4または5「下がった」と答えた方への質問)
「物価」が下がったことをどのように思いますか。**
- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 どちらかと言えば、好ましいことだ | 33.4 (43.8) |
| 2 どちらかと言えば、困ったことだ | 23.1 (20.7) |
| 3 どちらとも言えない | 42.7 (35.2) |

- Q13. それでは、1年前に比べ現在の「物価」は何%程度変わったと思いますか。**
 —— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がった
 () %

下がった
 平均値^(注1) : ▲0.6 (+0.2)
 中央値^(注2) : 0.0 (0.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 —— 全サンプルの単純平均値は ▲0.5 (前回調査<21/12月実施> : +0.3)。
 (注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

- Q14. 1年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。**
- | | | |
|---|-----------|---------------|
| 1 | かなり上がる | 2.1 (3.0) |
| 2 | 少し上がる | 30.1 (30.8) |
| 3 | ほとんど変わらない | 50.2 (46.2) |
| 4 | 少し下がる | 16.2 (17.3) |
| 5 | かなり下がる | 0.7 (1.1) |

- Q15. それでは、1年後の「物価」は現在と比べ何%程度変わるとと思いますか。**
 —— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
 () %

下がる
 平均値^(注1) : +1.7 (+1.7)
 中央値^(注2) : 0.0 (0.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 —— 全サンプルの単純平均値は +1.8 (前回調査<21/12月実施> : +1.7)。
 (注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

- Q16. 5年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。**
- | | | |
|---|-----------|---------------|
| 1 | かなり上がる | 10.2 (12.4) |
| 2 | 少し上がる | 53.6 (49.8) |
| 3 | ほとんど変わらない | 24.0 (23.4) |
| 4 | 少し下がる | 8.6 (10.2) |
| 5 | かなり下がる | 1.5 (1.6) |

- Q17. それでは、5年後の「物価」は現在と比べ毎年、平均何%程度変わるとと思いますか。**
 —— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
 毎年、平均 () %

下がる
 平均値^(注1) : +3.0 (+3.5)
 中央値^(注2) : +2.0 (+2.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 —— 全サンプルの単純平均値は +3.2 (前回調査<21/12月実施> : +3.6)。
 (注2) 回答を順番に並べた際に中央に位置する値。

- Q18. 先行きの土地の価格（地価）はどうかと思いますか。
- | | | |
|---------|------|----------|
| 1 上がる | 17.6 | (17.2) |
| 2 変わらない | 36.9 | (34.9) |
| 3 下がる | 44.2 | (45.5) |
- Q19. 長い目で見たとき、日本経済の成長力について、どう思いますか。
- | | | |
|-----------------|------|----------|
| 1 より高い成長が見込める | 2.8 | (2.7) |
| 2 現状並みの成長が見込める | 37.1 | (38.1) |
| 3 より低い成長しか見込めない | 59.2 | (57.6) |
- Q20. これから1年後を見たとき、あなた（またはご家族）は、勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生など）に不安を感じますか。
- | | | |
|-----------|------|------------------------|
| | | うち勤労者 ^(注) |
| 1 あまり感じない | 13.0 | (10.3) 13.1 (11.1) |
| 2 少し感じる | 45.9 | (45.5) 45.7 (44.6) |
| 3 かなり感じる | 40.1 | (42.2) 41.2 (44.1) |

(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）、およびパート・アルバイトなど。

以降のQ21～Q25は電子マネーに関する質問です。 ※今回新設

日本銀行では、世の中のお金の動きを把握することを目的に、電子マネーに関する調査・分析を行っています。

- Q21. あなたにとって、例えば買い物などで「電子マネーを使う」という場合、次のどれを思い浮かべますか。【複数回答】
- | | |
|---|------|
| 1 あらかじめ入金（チャージ）しておいたICカードや携帯電話を端末にかざして、代金を支払うこと | 65.1 |
| 2 ICカードや携帯電話を端末にかざして代金を支払い、銀行口座で後払いすること | 38.2 |
| 3 インターネット上の電子的な財布にあらかじめ入金しておき、それを使って、代金を支払うこと | 19.3 |
| 4 クレジットカードを提示し、暗証番号を入力して代金を支払うこと | 25.6 |
| 5 デビットカードを使って代金を支払うこと | 7.3 |
| 6 特定の商品などのプリペイドカードを使って代金を支払うこと | 10.2 |
| 7 商品購入時に貯めたポイントで代金を支払うこと | 14.5 |
| 8 その他 | 1.7 |
| 9 わからない | 12.3 |
- Q22. 現在、あなたは電子マネーをどのくらいの頻度で利用していますか。
- | | |
|--------------------|------|
| 1 頻繁に利用している（週1回以上） | 12.5 |
| 2 たまに利用している | 26.9 |
| 3 まったく利用しない | 30.6 |
| 4 電子マネーを持っていない | 19.7 |
| 5 わからない | 6.1 |

Q23-a. (Q22で1「頻繁に利用している」または2「たまに利用している」と答えた方への質問) 現在、あなたが利用している電子マネーは何ですか。【複数回答】

1 BitCash	1.1
2 Edy	17.0
3 ICOCA	8.1
4 iD/DCMX	5.3
5 J-Debit	1.2
6 Kitaca	0.7
7 Nanaco	13.9
8 NETCASH	0.6
9 PASMO	24.3
10 PayPass	0.0
11 PiTaPa	4.8
12 QUICPay	2.2
13 Smartplus/Visa Touch	0.7
14 SUGOCA	0.6
15 Suica	37.0
16 TOICA	0.9
17 Visa-Debit	2.9
18 WAON	17.4
19 WebMoney	3.2
20 ちょコム	0.2
21 その他	5.4

Q23-b. (Q22で1「頻繁に利用している」または2「たまに利用している」と答えた方への質問) 電子マネーの利用額は1回当たりいくらぐらいが多いですか。

1 1,000円以下	50.4
2 1,000円超～5,000円以下	36.4
3 5,000円超～10,000円以下	7.2
4 10,000円超	3.1

Q23-c. (Q22で1「頻繁に利用している」または2「たまに利用している」と答えた方への質問) 電子マネーの入金額は1回当たりいくらぐらいが多いですか。

1 1,000円以下	5.2
2 1,000円超～5,000円以下	58.8
3 5,000円超～10,000円以下	21.1
4 10,000円超	6.8
5 入金できる電子マネーを利用していない	5.6

Q23-d. (Q22で1「頻繁に利用している」または2「たまに利用している」と答えた方への質問) 電子マネーを利用しているのはなぜですか。【複数回答】

1 現金や小銭で支払うより便利だから	67.0
2 鉄道やバスで切符や定期券として使えるから	54.9
3 現金などの支払方法に比べ、ポイントがついていて有利だから	40.1
4 ICカードや携帯電話に機能がっているから	9.6
5 何となくカッコいいから	0.9
6 その他	3.6
7 わからない	0.7

Q23-e. (Q22で1「頻繁に利用している」または2「たまに利用している」と答えた方への質問) 電子マネーを利用する際に気になる点は何ですか。【複数回答】

1 利用できるお店やサービスがどれくらいあるか	49.0
2 利用するための手続き(チャージなど)や操作などが簡単か	40.9
3 個人情報などの安全性が守られているか	42.4
4 発行者がどのような会社か	18.0
5 サービスが停止した場合に、チャージしたお金が戻ってくるか	26.7
6 その他	3.1
7 特になし	9.3

Q23-f. (Q22で1「頻繁に利用している」または2「たまに利用している」と答えた方への質問) 電子マネーを利用するようになってから、日常持ち歩く現金の額はどうなりましたか。

(1) 硬貨(500円貨、100円貨、10円貨など)

1 増えた	0.2
2 変わらない	81.8
3 減った	15.9
4 わからない	1.7

(2) 紙幣(千円札、二千円札)

1 増えた	1.1
2 変わらない	86.3
3 減った	10.0
4 わからない	1.8

(3) 紙幣(五千円札、一万円札)

1 増えた	0.4
2 変わらない	80.7
3 減った	16.3
4 わからない	1.8

Q24. (Q22で3「まったく利用しない」または4「電子マネーを持っていない」と答えた方への質問) 電子マネーを利用しない、または持っていない理由は何ですか。

【複数回答】

1 利用する機会や必要がないから	60.5
2 利用方法がよくわからないから	35.1
3 利用できるお店やサービスが限られているから	13.8
4 他の支払方法のほうが、電子マネーよりも割引やポイントで有利だから	7.2
5 利用するための手続き(チャージなど)や操作が面倒だから	27.4
6 買い物などの代金を電子マネーで支払うことが不安だから	24.8
7 盗難や紛失にあうかもしれないから	25.2
8 電子マネーを持つと使い過ぎてしまうかもしれないから	30.3
9 その他	3.2
10 わからない	1.0

Q25. 電子マネーの利用に当たり、今後何を望みますか。【複数回答】	
1 利用できるお店やサービスが増えること	40.4
2 利用するための手続き（チャージなど）や操作が簡単になること	40.8
3 ポイント制度などのサービスが拡充されること	36.0
4 盗難や紛失にあっても保障が受けられること	52.3
5 必要に応じて払い戻しができること	23.3
6 利用できる金額の上限が引き上げられること	3.8
7 異なる電子マネー間で価値の交換がもっとできること	14.9
8 その他	2.6
9 特になし	19.2

最後に、あなたご自身のことやご家族のことについて全員にお尋ねします。立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を統計的に分析するために欠かすことができませんので、ご理解のうえ、ご回答のほどお願いいたします。

Q26. あなたの性別は次のどちらですか。	
1 男性	49.0 (48.7)
2 女性	51.0 (51.3)

Q27. あなたの年齢（満年齢）は次のどれにあてはまりますか。	
1 20～29歳	11.9 (12.0)
2 30～39歳	17.2 (16.7)
3 40～49歳	18.1 (17.8)
4 50～59歳	18.1 (17.2)
5 60～69歳	18.7 (19.3)
6 70歳以上	16.0 (17.1)

Q28. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。	
1 農林漁業	2.1 (1.8)
2 自営業・自由業	9.1 (10.5)
3 常雇（会社員・公務員など＜会社役員を含む＞）	38.5 (35.7)
4 臨時・日雇（パート・アルバイト）	14.5 (13.6)
5 上記1～4以外（主婦、学生、年金生活者、無職など）	35.1 (38.0)

Q29. あなたご自身および配偶者の昨年1年間の合計収入（税込）は、次のどの区分に入りますか。ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めて下さい。	
1 300万円未満	33.6 (37.3)
2 500万円未満	29.8 (29.5)
3 1,000万円未満	24.4 (21.9)
4 1,000万円以上	7.3 (5.2)
5 収入はない	3.7 (4.9)

Q30. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。	
1 単身世帯（一人暮らし）	10.4 (9.0)
2 1世代世帯（夫婦のみ）	26.1 (25.3)
3 2世代世帯（親と子供の世帯）	49.6 (51.7)
4 3世代世帯（祖父母と親と子の世帯）	11.7 (11.2)
5 その他の世帯（兄弟姉妹のみ、友人同士、祖父母と孫など）	2.0 (2.6)

日本銀行の政策や活動について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

1 記入あり	17.8 (16.5)
2 記入なし	82.2 (83.5)